

絵画の囲む中、幻想的に舞い来場者を魅了

～道立三岸好太郎美術館でのダンス公演～



文化芸術コースでアメリカのロサンゼルスにダンス留学した西野留以さんが、H31.1月に道立三岸好太郎美術館でダンス公演を行いました。

公演は2回行われ、計206名の来場者を前に、「少女の歩みー絵画をめぐる」とのタイトルで、自ら企画・構成・振り付け・選曲を行ったダンスを披露。

三岸好太郎が約100年前に制作した絵画が囲む美術館の中で、展示作品にまつわりながら、揺れ動く少女の内面、心の世界をダンスとバイオリンの生演奏で表現しました。

ダンスには、西野さんの教え子の小学生ダンサーも登場。子ども時代を投影した役で登場した二人の小学生ダンサーとともに、バイオリン奏者の林ひかるさんの生演奏のもと、美術館という限られた空間を幻想的に舞いました。

公演終了後、西野さんからメッセージをいただきました。

「三岸好太郎さんの絵画は自分が生まれる前の作品で、想像でしか分からないことが多かったですが、絵と演奏を絡めて自分なりに一生懸命構成を考えました。

上手く伝わったかは分かりませんが、多くの皆さんにお越しいただいたことに感謝しています。これからも頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。」

多くの方々が応援してくれる！思い切って挑戦を！～みらチャレ留学説明会での発表～



みらチャレ第1期生として海外挑戦した学生留学コースの高橋宗一郎さんと中川峻貴さん、スポーツコース齊藤雄大さんが、道主催のみらチャレ留学説明会で、留学体験を発表しました。

みらチャレ留学説明会は、今年4月から募集開始予定の基金第3期生の募集PRのため、基金事業の説明や実際に留学した第1期生による留学体験談の発表などを行うもので、H30.11月以降、要望のあった6大学で開催させていただきました。

約240名の学生に対し、第1期生からは、研修内容のほか現地での生活などを説明。最後に、目的を持って海外に渡航することで、実りのある留学になったと実感していること、自分だけの力では長期の留学を実現できなかったことなどを伝え、多くの方々が応援してくれるので、思い切って挑戦して欲しい！と参加した学生の皆さんにエールを送っていました。

